




「カイコの繭からの糸取りと座繰り体験をしました！」

～3年生 総合的な学習の時間「カイコを育てよう」～

1月26日（月）の3，4校時、さん、さん、さんを講師として、そして多くの保護者ボランティアの方々のお力添えのもと、繭の糸取りと座繰り体験を行いました。

繭の糸取りの方法についてお話をいただき、子供たち一人一人に、紙パックの中にお湯と繭が入ったものが1つずつ配られました。子供たちは、久しぶりの繭との対面にワクワクしている様子でした。糸取りは、繭に歯ブラシを当てて優しくこすることから始めます。まもなく、繭からいくつもの糸が出てきて、出てきた糸を引っ張っていくと、1本の細い糸だけが残りました。その糸を黒い紙や木枠に巻き付けていきます。その1本の細い糸を引っ張り続けると、お湯の中で繭がかすかに動いている様子が見られ、細い糸が繭からつながっていることを確かに確認できました。子供たちは、集中して糸取りに励みました。素敵なしおりや飾りに仕上がりました。

その後、「座繰り」という昔使われていた道具の説明をしていただき、その道具を実際に使わせていただきました。糸車を回すことで、カタカタ・・・という音を立てながら、糸がきれいに巻かれていきます。お湯につかった複数の繭糸を引き、1本の糸になっていく様子はとても興味深いものでした。昔の道具に実際に触れることができ、とてもよい経験となりました。

前半の糸取りで、「手で糸を手繰るのはとても大変だから、何か道具が欲しい」とつぶやいていた子がいました。そのような発想から、「座繰り」が生まれたのだと分かったと、養蚕の歴史もとても面白く感じられたようです。

ご多用の中、貴重な体験活動をさせていただき、本当にありがとうございました。

